

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業使命

自由でみずみずしい発想を原動力に、すばらしい夢と感動、ひととしての喜び、やすらぎを提供する

営業キャッシュ・フロ
3,000億円

売上高
1兆円以上

② 中長期の経営戦略

1. テーマパーク魅力向上

既存アトラクションのリニューアルや知的財産・新技術活用、エリア刷新により変化感を醸成。海外ゲスト積極受け入れ

3. クルーズ事業展開

2028年度就航予定。1隻目の成功後、2隻目も視野に入れ、既存事業依存度低減と収益性向上を実現

2. ホテル事業拡大

既存ディズニーホテルのテーマパークとのシナジー強化とレベニューマネジメント推進。舞浜・浦安エリアでの新規ディズニーホテル開発検討

4. ESGマテリアリティ推進

従業員の幸福、子どものハピネスに加え、循環型社会への取り組み。循環型リゾート実現で環境負荷をゼロに近づける

③ 対処すべき課題

① 国内若年層減少への対応

- ・ 訪日外国人の新規顧客化による国内市場縮小への備え
- ・ 東京ディズニーリゾート集客基盤の強化・活用
- ・ 海外ゲストを積極受け入れ盤石な基盤構築

② 事業地域リスク軽減

- ・ 舞浜エリア単一地域経営からのリスク低減
- ・ クルーズ事業による新地域展開と収益性向上
- ・ 複数事業による経営基盤多角化

③ 持続可能性と成長の両立

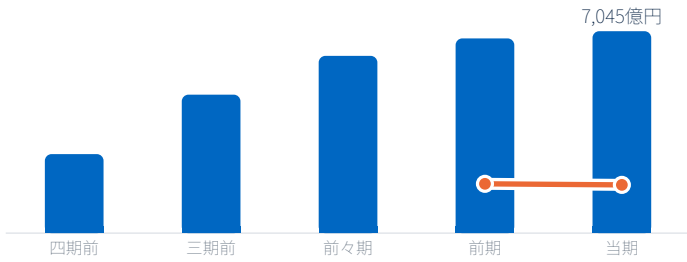
- ・ 気候変動・少子高齢化への対応を経営戦略に包括
- ・ 50年100年の永続的な社会価値提供体制構築
- ・ 環境負荷削減と事業成長の同時実現

面接で使えるポイント

- ・ 1983年4月の東京ディズニーランド開園から40年以上、ハピネス提供を実現する強い価値観と実行力
- ・ 2035年に売上高1兆円以上を目指し、2028年度のクルーズ事業就航で事業領域を拡大する成長戦略
- ・ オリエンタルランド・イノベーションズの投資資金を130億円に拡大し、新規事業創出で未来価値を開拓

証券コード 4661

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
7,045億円営業利益率
23.9%財務健康度
74点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 57.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
605万円

サービス業内 242位/524社

平均年齢
39.8歳

サービス業内 212位/527社

平均勤続
10.1年

サービス業内 134位/527社

女性管理職
20.8%

サービス業内 170位/371社

男性育休
91.6%

サービス業内 118位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 株式会社オリエンタルランドは、創立66周年を迎えました。|

